

# 令和5年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和4年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	平和関連推進事業			事業番号	007-046
担当部署名	市民人権	局	ダイバーシティ推進	部	人権推進

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
		寄与するKPI	無	取組の方向性	—		
			有・無	指標名	—		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	目標	—	目標値	—
			無	取組	—		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
		無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画	堺市人権施策推進計画【第3期：令和4年度から令和8年度】			
3	事業開始年度	— 年度	点検対象年度	令和 5 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律、堺市立平和と人権資料館条例、堺市立平和と人権資料館条例施行規則、堺市平和と人権を尊重するまちづくり条例			

#### 事業の概要



5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、出先機関（平和と人権資料館）			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	全市民	対象数	817,441	単位
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	戦争の悲惨さ、平和の尊さ、人権尊重の大切さを訴え、次世代に伝えることで、平和と人権を尊重する都市の実現を図る。国際平和に対する理解や認識を深め、国際貢献、国際協力活動を推進することを通じて、地方自治体として世界平和の実現に向けて貢献する。			

8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平和と人権資料館運営 <ul style="list-style-type: none"> <li>・常設展示：人権、環境、平和ゾーンで構成。さまざまな機器を使い、体感型の展示を行っている。</li> <li>・企画展示：人権、環境、平和に関するテーマで3か月ごとに、年4回開催している。</li> <li>・啓発ビデオや資料パネルの貸出し。</li> </ul> </li> <li>○自由都市・堺 平和貢献賞 <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際的な平和貢献活動を行った団体を国内の有識者、学術機関等から推薦を得て、授賞団体を選考する。(令和4年度は授賞団体なし)</li> <li>・国際貢献への参加・協力を希望する市民に対し、本市がパイプ役として受賞団体を紹介するマッチング事業を実施。</li> </ul> </li> <li>○国際平和人権基金の設置 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平和と人権を尊重するまちづくり条例に規定する国際貢献等の活動及び顕彰を通して平和を促進する事業に活用する。</li> </ul> </li> <li>○平和首長会議、日本非核宣言自治体協議会への加盟 <ul style="list-style-type: none"> <li>・核兵器廃絶、恒久平和の実現をめざして、国内外の都市が連帯して、平和構築活動を行う。</li> </ul> </li> <li>○ピースメッセンジャー（堺大空襲 語り部ボランティア） <ul style="list-style-type: none"> <li>・堺大空襲など戦争体験の語り部としてピースメッセンジャーを募集し、登録した方が、学校などからの依頼に応じて自身の体験談などを語るにより、市民の平和に対する意識を高める機会とする。</li> </ul> </li> </ul>			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—			

9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	テルウエル西日本株式会社関西支店			
10	公民連携・協働事業	市内大学や語り部ボランティアと連携した事業の実施。			

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定) 平和と人権資料館の展示についての満足度	単位 %		実績		目標	目標 点検対象年度
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度
				目標値	95	98	98
				実績値	98	91	98
				達成率	103%	93%	
	当該指標を選定した理由	人権意識の向上を図るためには、より充実した展示を行い、満足度を高めることが重要だと考えるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	平和と人権資料館の来館者アンケートで「良かった」、「どちらといえば良かった」と答えた人の割合。令和4年度の目標値が未達のため、令和5年度の目標値は、令和4年度の目標値と同値とした。					
12	活動指標(成果を上げるための手段) 平和と人権資料館の来館者数	単位 人		実績		目標	
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				目標値	6,000	10,000	
				実績値	8,624	9,313	
				達成率	144%	93%	
	当該指標を選定した理由	人権意識の向上を図るためには、より多くの方に当館を見学してもらうことが重要だと考えるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	社会全体がコロナ禍以前の状況に戻つつあることを勘案し、令和4年度の実績値も踏まえ、令和5年度の目標値を設定した。					

## 令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	平和関連推進事業	事業番号	007-046
-------	----------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

事業コスト		※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
項目		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費 (a)	19,683	21,041	22,603	20,785	22,637
	財源内訳					
	国支出金	1,004				0
	府支出金					0
	市債					0
	その他（繰入金、利子収入、寄付金）		54	131	1	101
	受益者負担金(使用料、手数料等)					0
	一般財源	18,679	20,987	22,472	20,784	22,536
14	人件費 (b)	18,680	8,774	10,660	10,660	8,100
15	年間経費(c)=(a)+(b)	38,363	29,815	33,263	31,445	30,737

事業費の内訳		（単位：千円）								
項目	年度	事業費		うち一般財源	項目	年度		事業費		うち一般財源
		R4	R5			R4	R5	R4	R5	
16	会計年度任用職員報酬	R4	決算	9,239	9,239	平和と人権資料館保守点検業務	R4	決算	880	880
		R5	予算	9,215	9,215		R5	予算	880	880
	期末手当（会計年度任用職員）	R4	決算	1,432	1,432	平和と人権資料館保守管理委託料	R4	決算	1,690	1,690
		R5	予算	1,433	1,433		R5	予算	2,028	2,028
	費用弁償（通勤費）	R4	決算	382	382	その他備品購入費	R4	決算	268	268
		R5	予算	290	290		R5	予算	300	300
	人材派遣等委託料	R4	決算	5,069	5,069	共益費	R4	決算	706	706
R5		予算	6,122	6,122	R5		予算	847	847	
平和と人権資料館清掃業務	R4	決算	522	522	その他(通信運搬費、消耗品費など)	R4	決算	597	596	
	R5	予算	522	522		R5	予算	1,000	899	

### Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費		区分	単位	令和3年度	令和4年度
17	①	平和と人権資料館 来館者数	人	8,624	9,313
	②	上記①にかかる年間経費	千円	24,835	24,588
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	2,880	2,640
備考（算出についての説明等）		平和と人権資料館運営に係る人件費を含めた年間経費で算出。			

### Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見	
18	平和と人権資料館における来館者へのアンケートでは、91%が「良かった、どちらかといえば良かった」と回答しており、前年度同様高い水準を維持している。コロナ禍において一時休館していた令和3年度と比較し、令和4年度は来館者数が回復したため、単位当たり経費が減少した。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）	
19	令和4年度の来館者数が前年度を上回ったことや、来館者の満足度が前年度同様高い水準を維持していることから、人権意識の向上に寄与できていると考える。今後も、平和と人権に一層興味や関心を惹くよう企画展の充実を図り、来館者の満足度を高めることにより、人権意識の更なる向上を図る。